

看護専門学校個別事項

2.2 当該年度における業務の概要

(1) 学校のPR、地域貢献（主な事業に記載）

学校のPR、地域貢献を積極的に行い、学生の確保を図る。

- オープンキャンパスの実施 2回 参加者128名
- 県内高校・看護学校へ学校PRのための訪問の実施 施設数 22施設
- 医師会、医療機関等への社会人入学制度PRのための通知の実施
- 進学相談会等への参加 6回 参加者数 65名
- 教員による命の教育の実施 4回 参加者344名

志願者数（推薦・社会人含む）

（ ）内は定員

年度	助産学科	第1看護学科	第2看護学科
20	61 (20)	102 (25)	42 (20)
21	43 (16)	76 (25)	35 (20)
22	60 (16)	114 (25)	42 (20)
23	43 (16)	125 (35)	31 (20)
24	52 (16)	100 (35)	48 (20)
25	38 (16)	133 (35)	47 (20)
26	55 (16)	108 (35)	38 (20)
27	39 (16)	81 (35)	53 (20)

※平成21年度から助産学科(助産師課程)を新設し、定員を変更(定員20名→16名)

※平成23年度から第1看護学科を定員増(定員25名→35名)

推薦入学・社会人入学の状況

学 科	推薦入学試験			社会人入学試験		
	募集数	推薦者	合格者	募集数	志願者	合格者
助産学科	6	4	4	3	4	1
第1看護学科	18	14	12	—	—	—
第2看護学科	3	3	3	4	4	0

(2) 教育環境の整備

- サービス棟屋根折板葺き(カバー工法) 営繕課積算額: 3,809千円
- 看護実習室に電動ベッド5台導入: 2,438千円(地域医療介護総合確保基金)

(3) 看護教育の充実

新たに導入した教育内容の充実を図る。

○全ての学科において、平成23年度から新カリキュラムに移行。(主な事業に記載)

1) 看護学科

* 客観的臨床能力試験(OSCE)の充実

患者に安全と気遣いをしながら日常生活援助が提供できるよう、平成22年度から導入したOSCEを、患者の状況観察を基にした判断や援助の提供につなげられるように変更・実施した。

* 安全な看護を提供できる判断力や実践力を養うために医療安全の学習内容を「看護の統合と実践」の科目に位置づけ、実施した。

* 卒後スムーズに臨床現場に適應するために、チームで複数患者を受持ち、優先度の決定、時間管理を体験する「統合実習(90時間)」(平成23年度開始)を見直しし、実施した。

2) 助産学科

- * 安全な分娩介助ができるよう、実習前の分娩介助演習に2施設の実習指導者が参加した。また、分娩介助の技術チェックを学生ごとに実施し、到達度を把握した。異常妊産婦への対応、新生児の救急に対応できるよう演習を実施した。「新生児蘇生法 (NCPР)」に学生の参加を計画した。
 - * 正常な分娩介助が学べるよう診療所での実習を行った。
 - * 地域母子保健の授業に指導者が参加する現場密着型授業を行った。
 - * 全国の助産師学校でも取り組みが少ない思春期の学童 (小学校) を対象にした「命の教育」を実践した。
- 全国的に注目されている講師を招いて魅力ある授業を実施し、教育の質の向上を図る。

助産学科 日程 平成27年1月7日
講演 「保健医療関係者に対するDV解決・支援トレーニングの教育」
講師 神戸市看護大学助産学専攻科 教授 高田昌代

(4) 実習体制の整備

実習体制を整備し、教育内容の充実を図る。

- 今年度新たに開拓した実習施設(看護学科：在宅看護論実習施設)での実習がスムーズにできるように前年度から実習計画・実習配置等を検討した。
- 看護学科の新たな老年看護学実習施設として介護老人保健施設を開拓し、厚生労働省の許可を得た。
また、小児看護学実習施設として保育所を開拓し、実習受け入れの承諾を得た。
- 実習指導者会を定期的で開催し、実習指導者と教員の連絡調整をきめ細かく実施した。
- 実習施設や実習指導者の教育への理解を深めるために、実習指導者養成講習会の講師や実習施設等の研修への協力を積極的に行った。

(5) 国家試験対策の強化

- 国家試験対策として、特別授業や模擬試験を実施し、知識の定着とエビデンス(科学的根拠)の強化を図る。

【参考：平成26年度国家試験合格状況】

学 科	受験者数(人)	合格者数(人)	合格率(%)	全国合格率(%)
助産学科	15	15	100.0	99.9
第1看護学科	34	31	91.1	90.0
第2看護学科	20	20	100.0	

(6) その他の教育

○人権教育の実施(看護学科)

ア 研修旅行(7/3~7/4) 長島愛生園、人と防災未来センター見学

イ 人権関係講義の実施

講演：「インターネットと人権」

講師：鳥取県ケータイ・インターネット教育推進委員 法務省人権擁護委員 今度珠美

対象：新入生 5月30日 71名

○専門的学術集会等への参加(助産学科)

ア 第55回日本母性衛生学会学術集会参加(9/13~9/14) 千葉県幕張メッセ

イ 第33回鳥取県母性衛生学会学術講演会参加(1/29) 倉吉交流プラザ

(7) スクールカウンセラーの配置(平成19年度から配置)

毎週月曜日 午後4時~5時30分 利用者数 実人員 9人 延べ22人(H27.3月現在)

(8) 教員研修の実施

日 時：平成26年8月23日

講演：「協同学習の実際」

講師：久留米大学文学部 教授 安永 悟

参加者：教員22名、実習指導者14名 計36名

(9) 教員の研究活動等

①一般社団法人日本看護学校協議会第26回学会

発表者：教務主任 石尾由美

テーマ：新人看護師からみた統合実習の効果

日時：平成26年8月8日

②第1回鳥取県実習指導者養成講習会

講義：副校長 会見加代子、教務主幹 初田玲子、教務主任 西川淳子 石尾由美

演習：教務主任 河口和子、講師 岡本志保 尾田恵

日時：平成26年7月28日～9月25日

③第2回鳥取県実習指導者養成講習会

講義：副校長 会見加代子、教務主幹 初田玲子、教務主任 西川淳子 石尾由美

演習：教務主任 河口和子

日時：平成27年1月8日～3月6日

④鳥取県立厚生病院院内研修

講師：副校長 会見加代子

テーマ：「ヘンダーソン看護論」

日時：平成26年5月15日 平成26年5月29日

対象：厚生病院看護師クリニカルラダーⅡ受講生 21名

⑤鳥取県立厚生病院院内研修

講師：教務主幹 初田玲子

テーマ：「臨地実習における学生指導」

日時：平成26年7月18日

対象：厚生病院看護師クリニカルラダーⅢ受講生 10名

⑥藤井政雄記念病院院内研修

講師：教務主任 西川淳子

テーマ：「臨床実習指導のあり方と記録指導の留意点」

日時：平成27年1月31日

対象：藤井政雄記念病院・倉吉病院看護師 15名

⑦鳥取県立厚生病院院内看護研究支援

講師：教務主幹 初田玲子

日時：平成26年4月26日 看護師18組

平成26年8月30日 看護師14組

平成26年11月1日 看護師13組

平成26年12月20日 講評

⑧鳥取県立中央病院院内看護研究支援

講師：教務主幹 初田玲子

日時：平成26年6月7日 看護師 14組

平成26年8月2日 看護師 14組

平成27年1月31日 講評

⑨看護教員実習受け入れ

対象：広島県看護教員養成講習会看護教員実習生 1名

日時：平成26年11月10日～28日

⑩公益社団法人鳥取県看護協会研修

講師：教務主幹 初田玲子

テーマ：「レポートの書き方」

日時：平成26年4月25日

対象：認定看護管理者ファーストレベル研修受講生 61名

⑪「命の教育」実施

1) 教務主任 浦川智江：平成26年7月16日 県立倉吉総合産業高校 3年生177名 教員5名

2) 講師 澤田 悠：平成26年9月5日 上北条小学校 2年生25名 保護者15名 教員2名

3) 講師 小寺理恵：平成26年9月19日 社小学校 5年生60名 保護者40名 教員4名

4) 講師 橋井美紀 小寺理恵：平成27年2月27日 船上小学校 4年生27名 教員3名

⑫倉吉市ファミリー・サポート・センター提供会員養成講座

講師：橋井美紀

テーマ：「子どもの安全と病気／病気の子どもの世話」

日時：平成27年1月30日

対象：ファミリー・サポート・センター提供会員7名 保育士1名

⑬倉吉西高等学校チャレンジグループ活動

講師：小寺理恵

テーマ：「看護の仕事と地域貢献について」

日時：平成26年7月10日

対象：倉吉西高等学校 第1学年生徒153名

⑭雑誌への投稿

1) 「合格へと導くために教員全員で支援」 看護教育 vol155.no6 2014

2) 「複数の患者を学生チームで受け持つ統合実習の効果」 看護展望 vol139.no12 2014

23 学生の入退学等移動状況調べ

(単位：人) (平成27年 3月31日現在)

区 分	入学進級 直後の 学生数	月 別 異 動 状 況														差 引 現在数	備 考		
		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計					
第 1 学 年 第 2 学 年 第 3 学 年	休学	35		1											1	2	35	休学者2 名はH27 年度に復 学予定	
	退学																		
	復学																		
	除籍																		
	休学	35															36		
	退学																		
	復学		1																
	除籍																		
	休学	35															35	1名はH27 年度再履 修予定	
退学																			
復学																			
除籍																			
第 2 学 年 第 2 学 年	休学	20															20		
	退学																		
	復学																		
	除籍																		
	休学	20															20		
	退学																		
復学																			
除籍																			
助 産 学 科	休学	16										1				1	16	休学者1 名はH27 年度に復 学予定	
	退学																		
	復学																		
	除籍																		
合 計	休学	新入・進級者 161		1								1			1	3	162		
	退学																		
	復学		1													1			
	除籍																		

※ () 書きは、外数

24 学校卒業者の就職等状況調べ

(単位：人) (平成27年 3月31日現在)

区 分		就 職						進 学	そ の 他	合 計	備 考	
		県 内			県 外							計
		公的医 療機関	民間医 療機関	その他	公的医 療機関	民間医 療機関	その他					
第1 看護 学科	平成22年度	17	5	—	—	1	—	23	2	—	25	
	平成23年度	13	6	—	1	—	—	20	3	—	23	
	平成24年度	10	5	—	—	—	—	15	5	—	20	
	平成25年度	19	6	—	—	4	—	29	4	2	35	
	平成26年度	17	7	—	1	1	—	26	4	4	34	
第2 看護 学科	平成22年度	6	11	—	—	1	—	18	1	—	19	
	平成23年度	7	12	—	—	1	—	20	1	—	21	
	平成24年度	10	9	—	—	1	—	20	—	—	20	
	平成25年度	2	13	—	1	1	—	17	—	1	18	
	平成26年度	5	13	—	—	—	—	18	2	—	20	
助産 学科	平成22年度	7	1	—	2	6	—	16	—	—	16	
	平成23年度	5	2	—	3	5	—	15	—	—	15	
	平成24年度	8	—	—	4	3	—	15	—	1	16	
	平成25年度	5	2	—	1	8	—	16	—	—	16	
	平成26年度	6	3	—	4	2	—	15	—	1	16	
合計	平成22年度	30	17	—	2	8	—	57	3	—	60	
	平成23年度	25	20	—	4	6	—	55	4	—	59	
	平成24年度	28	14	—	4	4	—	50	5	1	56	
	平成25年度	26	21	—	2	13	—	62	4	3	69	
	平成26年度	28	23	—	5	3	—	59	6	5	70	

25 教育計画とその実績

(単位：時間) (平成27年 3月31日)

学 科 名 等	基準	第 1 学 年		第 2 学 年			第 3 学 年			
		計 画	実 績 A	計 画	実 績 B	計 A+B	計 画	実 績 C	計 A+B+C	
第1看護 学科	第1学年	学 科	990	1,009	1,020					
		実習課程	135	135	135					
	第2学年	学 科	750		757	763	1,783			
		実習課程	315		315	315	450			
	第3学年	学 科	225					226	246	2,029
実習課程		585					585	585	1,035	
第2看護 学科	第1学年	学 科	1,185	1,185	1,193					
		実習課程	135	135	135					
	第2学年	学 科	285		285	288	1,481			
		実習課程	585		585	585	720			
助産 学科	学 科	600	626	636						
	実 習 課 程	495	495	614						

* 基準欄の数値は学則で定めた時間

26 主な施設の整備状況調べ 該 当 な し

27 意見、要望等

(1) 業務に関する意見・要望等

- 第1看護学科の学生定員の増により、平成25年度には第1看護学科の学生が全体で30名増加した。平成25年度に第1看護学科の講師1名が定数増となったが、奨学金や修学資金の手続き、外部講師謝金の支出負担行為、図書室の管理、寮の管理等の多くの教務事務を担っている。引き続き、教員が教育に専念できる体制を整えていただきたい。
- 助産学科は現在教員3名の体制で運営している。実習施設7施設のうち2施設は東部地区にある。また、夜間も実習施設に出向き、分娩介助の指導を行っている。効果的な学習支援のために教員の定数増をお願いしたい。

(2) 監査委員事務局に対する要望等 該当なし